

会報 VOL.16

波止場町便り



2025年12月31日発行

記憶される港の風景 (その8) 「物語」をつくる人々は何処から



記憶される港の風景(その8)

1. 労働環境の変遷が見せつけるもの

北風と太陽と云う寓話がある。確かに私は「寛容さ」という風が、服従を強い北風ではなかったことを知っている。しかし、「30円宿」のころ、神戸港では暴力という強い風が吹いていたのである。

昭和31年(1956年)5月21日労働者が砂糖を持ち帰って水上署に捕まった。このことを知った監督が「会社の面子に泥を塗った」としてバットでこの労働者を殴り殺してしまった。この事実が明らかにされたのは3か月後である。神戸新聞で報道され、警察が事件として取り上げたからである。このような暴力的制裁は労働者支配のためであるが、港湾という公共の場所と労使関係にふさわしくないものとして、この事件を契機に神戸港の民主化は港湾労働法の制定へと向かうことになる。

1966年(昭和41年)に港湾労働法は施行される。この法律の所轄官庁は今で云う所の厚生労働省、当時は労働省であった。そして、港湾管理者の神戸市、港湾運送事業法を所管する神戸運輸監理部などの行政責任が明記されることでむき出しの暴力支配という「風」は変化したのである。港湾は港という動かしようの無い場所であり、使用者側も港労法一港湾運送事業法に規定されて、責任ある対応を求められる事になった。法律のもたらした効果は行政責任を果たすことを求めただけではなく、労使関係においても責任を果たすことを求めたのである。とはいものの、港湾労働特有の苛酷な現場労働に規定されて、その「暴力性」が短期間で改善されたわけではない。たとえば40年前に私が見た事柄である。本船での荷役作業は作業会社が勝手に仕切れるわけではなく、元請けの指示に沿ったものである。ましてや工場作業と違い、入港する各国の船の荷役機器を使用してのものである。荷役機器の不具合や荷崩れなどの重大事故の危険と隣り合わせの作業である。説明している余裕などない場合は語気の荒い指示となり、怒声にも聞こえる。それは仕事の性格上やむを得ない場合もある。ただしである。トラブルや行き違いに対する処し方は時として暴力的であった。本船に荷揚げするために何隻もの艤が横付けされていた。デッキにいた監督が、艤の船頭に向かって艤を入れ替えるように指示する。艤の船頭は「俺が先に来たんだから、俺の荷物を揚げてくれ」と言って艤を移動させようとしない。何度かのやり取りの後でデッキ上の監督は「馬鹿野郎! どけろ!」と怒鳴り、4メートルほどあるショーリング用角材を艤に投げ入れたのである。問答はあった。だが、どう見ても問答無用である。この様な説明しがたい理不尽なことは多かったのである。当時の在来船は船首が尖ったものも多

く、積み付けに際して、船内大工が荷物台を作りスペースを確保したのちに、船内労働者が苦労して荷物を収めることもあった。荷役が終わって次の仕事に移ろうとしたときに監督からのやり直し指示である。当事者から公然と不満の声が上がる。すると業を煮やして監督がウインチの先のフックに足を乗せ、ワイヤーを掴んでダンブルに降りて来て「バラセ」と命じるのである。一見正義のヒーローのようであるが、やっていることは悪代官である。今ではありえないことだが、事故も喧嘩もなく作業が進んだのは労働者数に余裕があり、失敗に対応する柔軟性が共同性としてあったからだとも思う。

前号に掲載した「30円宿」の写真であるが、博打をしているそばで本を読んでいる者、博打を見ている女性、奥に干してある作業服など簡易宿泊所での「のんびり」した雰囲気はよく出ている。戦前は分からぬが、戦後も企業に所属しないで港で働く労働者は権造、または沖人足と呼ばれ蔑まれていた。権造部屋は東川崎町、西出町、宇治川に多くあったと言われている。『会報9号』で書いたが、1964年に雇用促進事業団により全国で最初に建設された第一福祉センターの一泊料金が70円である事と比較したとき、値段の変化以上に労働環境の改善に考察が行くのである。個人個人の力量で企業や組と対していた労働者にとって、その存在が公けであると認められ、その労働と生活と活動を支える施設が港労法施行に先立ち誕生したのである。それは北風に吹き飛ばされまいとして、オーバーの襟を立て、帽子をつかんでいた両手と共に、古く狭い世界を解き放ったのである。会社や組合を越えた交流が波止場町を中心に、地域へも広がった。企業内や居住地域に規定された旧来の関係性は、視野が広がることで労働者のみならず企業にとっても神戸港にとって有意義に働いたはずである。「港に行けば飯が食える」「神戸港に行けば飯が食える」という労働者の受け皿が企業や組だけでなく、宿泊・食堂・風呂・洗濯場・会議室などを完備した施設の誕生で神戸港の隆盛をささえ、発展の可能性を拡大したのである。



「港に行けば飯が食える」という話は神戸だけの話ではなかつた。東京オリンピック工事などの大型公共事業後の就労先として、港を選んだものが多いのは東京港や横浜港にも働く環境が整備されていたからである。最近は以前のように過去を問わない人々を雇用する状況では無くなったりもあり、地元出身か地縁・血縁者が多くなり、謎めいた人は見かけなくなった。

2.「物語」をつくる人々は何処から

私は旧港湾労働法一国に登録する登録日雇港湾労働者制度の最後の世代である。1986年関連職種の11名募集に応募して採用された。応募者は40名を超えていた。履歴書提出に加えて、港職安職員による面接審査があった。私は港湾労働未経験者であり、現場労働もほとんどしたことがなかったので色白で優男であった。応募者の多くは港湾労働経験者であり、ほかにもとび職経験者などの肉体労働に自信がある者であった。面接官は私の経歴を掘り葉掘り聞いたうえで「一生、働きますか?」と、聞いたので「ええ、一生働きます」と答えた。私は2か月の試用期間で辞めて、外国に行くつもりだったので「明日の事もわからないのに、眠たいことを言うんじゃねーよ」と思っていたのだが、登録日雇港湾労働者制度の廃止から、センター常用労働者派遣制度への移行と制度の廃止。港湾労働法で言えば旧法—新法—改定法を渦中で経験し、観察することになる。

奇人変人というのは、受け止める側の価値観に規定されることが多い。だから、強情と気一本というのも紙一重で、良くも悪くも評価される。数が多かったせいもあり、登録日雇時代の方が個性豊かな者が多かったように思う。現場で喧嘩をして送迎バスを待たず、六甲アイランドから波止場町まで歩いて帰ってきた千葉県出身者や、独身寮の階段から酔って落ちて亡くなった者が姫路でビルを何件も所有している資産家の長男で、その後始末に来た妹が運転させてきたベンツが最上級のものであったことなど、亡くなつてから実相が分かる場合がほとんどである。資産家の長男であったMさんは歳を若くごまかして働いていたのだが、金を切らしたことがない理由にギャンブルが強いことをあげていた。しかし実際は妹に無心していたとのことである。お風呂場で何度か私のお尻を触り、にまーっと人の好い笑顔を見せていたAさんは鉤職種のベテランである。小柄であったが仕事の最中は言葉をほとんど発せず、人を寄せつけない迫力で顔を真っ赤にして、60キロの袋物をはい付けている姿を見ているので「お尻ぐらい、いいか」と思ったものである。当時、仲間の半分以上は過去を具体的に語ら無い人たちであった。私たちは仲間が亡くなつてから親族を探し、神戸港で働くまでのいきさつの断片を、知ることになるのである。ここまででは、よくある世間である。これから記録しておこうと思うのは「物語をつくる人々」の記憶である。

(続く一磯田 和男)

活動報告

神戸市教育委員会へ写真集を寄贈しました

本年5月の通常総会決議を受け進めておりました、学校への写真集の無料配布は、11月18日(火)、神戸市内の小学校(161校)、中学校(80校)、市立高校(8校)、義務教育学校(4校)に向けて神戸市教育委員会様への寄贈式を行い、正式に寄贈いたしました。(後日各学校に配付されます。)



神戸新聞 2025年12月02日 火曜日 両名 神戸 13 21ページ

神戸港の歴史や荷役現場知って 市内小中高校に写真集寄贈 波止場町通まちづくり協議会



当日は、教育委員会側からは、福本教育長・竹森事務局長・西川部長・田中部長と上席の方が出席され、協議会の青井会長から福本教育長に写真集が手渡されました。

なお、寄贈式の模様は、当日取材された神戸新聞記者により、12月2日付神戸新聞朝刊に記事として、掲載されました。

協議会としましては、続いて、兵庫県教育委員会様に伺い、県下の全高校(約200校)の図書館に置いていただくよう、話を進めております。

今夜も大いに盛り上がる! 2025 X'masパーティ&忘年会 開催

12月12日夜、Harbor Studioを会場に会員88名が参加して、2025X'masパーティ&忘年会を開催しました。

当日は、今田副会長の開演挨拶、永田副会長の乾杯発声によりスタートし、もはや恒例となった各社対抗カラオケ大会もますますハイレベルな戦いとなり、また、出場者のパフォーマンスもあり、異様な熱気をもって盛り上りました。

また、ゲストによるコンサートもMarSAさんのすごい声量とソウルフルでパワフルなヴォーカルと、土井亮ユニットによる演奏も、それぞれ関西屈指のミュージシャンだけあって素晴らしく、会場が一体となってのノリノリのライブでした。

今回も参加者全員サンタ帽に蛍光色に光るブレスレッドを着けて、少し早いクリスマス気分を全身で楽しみました。

料理の方も、ネタも大きく豪華な握り寿司に熱々のピザ等々、たっぷりとあり、大満足でした。

そして、会の最後は、会員各社様からご提供いただいた豪華な景品が当たる、お楽しみの大抽選会が行われ、景品は半数以上の方に当たり、くじを引くたびに歓声と笑顔が会場にあふれました。

宮本副会長による締めの挨拶も早すぎて唐突に感じ入られるほど、あっという間のX'masパーティーでした。

参加された皆様、お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。良いお年を!



会員一覧

- 株式会社メイフェア
- 住井運輸株式会社
- ニッケル・エンド・ライオンズ株式会社
- 甲陽運輸株式会社
- 二和興業株式会社
- 株式会社KDS
- 商船港運株式会社
- A&D MUSIC
- 神菱港運株式会社
- 全港湾神戸弁天浜支部

- 株式会社アベストコーポレーション
- 株式会社住友倉庫 神戸支店
- 早駒運輸株式会社
- 株式会社ユニアオンエージェンシー
- 株式会社ラスティー
- 中央港運株式会社
- 上津港運株式会社
- 走水神社
- 昌栄運輸株式会社
- 株式会社クリアス

- 兵庫県信用組合本店営業部
- 株式会社アテネエンタープライズ
- 株式会社ハイファイブ
- 合同会社リリー企画
- 株式会社SORA
- 株式会社I・B・C
- 株式会社パワーステーション

(順不同)